

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。コロナ感染予防対策のため、原則30分(最長60分)の質問時間になっています。

少子化対策・子育て支援

について



質問者
唐澤 一代 議員

少子化対策・子育て支援について、町長のお考えを伺います。

(1) 移住者、特に親元から離れた子育て世帯の増加は、頼る者がいない孤立化の恐れがあり、子育て支援センターやファミリーサポート松田の需要が見込まれる。今後のサービスの展開や工夫している点は。

(2) 保育園は定員を超えている状況で運営されているが、保育の安全管理体制、業務改善、職員給与等負担増が懸念される。現状とそれに対する町長のお考えは。
(3) 妊娠届等の書類にある質問項目のうち、医療機関には必要であるが行政機関が知る必要が無い

と思われる項目が含まれている。これらを見直したことはあるか、また改善するお考えは。

子育て世帯の目線で 今後も支援する

回答 (町長)

A



(1) 子育て支援センターでは、毎月季節にあつたイベントの開催や、利用者同士が話す機会、支援員との信頼関係を築く場所の提供をしている。コロナ禍の中でも電話相談も設置している。ファミリーサポート松

田では一部利用料の助成を実施している。

(2) 園児の人数に対する職員配置・施設の運営等について、県の現地指導監査から指摘はなく問題は無い。これまで同様、先方の意思を尊重し、可能な限りの支援を実施していく。

安心して利用できる

介護保険制度を



質問者
寺嶋 正 議員

(1) 松田町第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の素案はできたのか。介護保険事業の利用者、サービスの推移、第1号被保険者の保険料基準額など伺う。
(2) 第8期計画に合わせて行われる介護保険制度の改定内容は、重点目標の地域包括ケアシステムの充実や認知症施策など

(3) 丁寧に妊婦さんの情報を共有してもらうことは、サポートを行う行政にとっても、どのような支援が必要かを決める大切な項目。現在は改善の予定はないが、産前産後の大切な時期に、精神的苦痛がないよう、より一層配慮していく。

の取り組みを伺う。
(3) 介護サービスの利用料の引き上げ、施設の食費・居住費の軽減措置の見直しなど止めるよう国に求めること。「要支援1、2」の訪問・通所介護のサービス切り下げはしないこと。今後負担増となる保険料の軽減策などの見解を伺う。

利用者に応じたサービスが行き届くように取り組む
回答 (町長)

A



(1) 介護保険事業計画等は令和3年1月に素案を固め、パブリックコメントを経た後、議員に説明をする。介護保険料基準額は、介護サービス費等の推移に合わせて、今後決定していく。
(2) 基本指針の中で地域包括ケアシステムは、要介護状態になっても住み慣れた地域で暮らしているよう、住まい・医療・予防・生活支援が一体的に提供される仕組み。認知症施策に関して普及啓発や予防、家族支援などに取り組む。
(3) 保険料の軽減は、昨年度より消費税増税に伴い、低所得者の方に対して負担軽減措置を実施したので引き続き適用する。